

令和六年九月二十三日 茶道隆茗会 会記

主 中西松富庵

寄 付

床 吸江齋筆 月 一字 即中齋箱

次床 田中訥言筆 秋草二月図

香合 籠地螺鈿草花二虫図

炭斗 唐物写籐組底四方 惺齋箱

羽箒 青鸞 小堀宗明箱

釜環 大角豆相生 ツボツボ青海波象嵌

即中齋箱 清右衛門作

火箸 金銀象嵌

釜敷 籐組透

本 席

床 清巖宗渭筆 一行書

心隨萬境轉

花 芙蓉 金水引 撫子 ほととぎす 萩 秋明菊

りんどう いとすすき ふじばかま

花入 予樂院好 竹組菱手付籠

釜 霰真形 初代寒雉作

風炉 唐銅朝鮮 切合 初代寒雉作

風炉先 金銀切箔

水指 仁清白釉耳付

棚 木屋町 一閑作

茶器 菊桐松皮菱蒔絵平棗

替 藍阿蘭陀

茶杓 江岑宗左作 共筒 啐啄齋・川上不白箱

茶碗 宗入 黒平 銘 苔清水 即中齋箱

替 安南染付 魚文

替 御本三島手

建水 不審庵伝来写 南鐔エフゴ 浄益作

蓋置 古染付 車軸

御茶 猶有齋宗匠御好 三日月の白 上林春松詰

御菓子 萩小袖 吉はし製

器 呉須赤絵 合子

干菓子 秋の山 吉はし製

器 青貝稚龍文四方

苜盆 宗全好 香狭間透 即中齋箱 一閑作

火入 南京赤絵山水図

苜入 絵独楽唐子遊文 而妙齋箱

煙管 惺齋好 亀甲

以上